

緩和医療ファーマシューティカルケア研究会・大阪 第3回例会

本会は、緩和医療に関する現場薬剤師の知識向上、連携基盤の構築による在宅医療の推進を目的に、2017年3月4日から活動を開始いたしました。特に、病院薬剤師と保険薬局薬剤師の連携を通じ、地域住民から薬剤師に求められる責務を果たしたいと考えています。キャリアアップセミナーだけでなく、パネル討論等、全員参加型の内容も取り入れ、得るもの多い充実した例会を企画、運営して参ります。緩和医療に実際に関わっておられる先生、緩和医療に興味ある先生は、奮ってご参加下さいませようにご案内申し上げます。

近畿大学医学部附属病院 薬剤部 川口 明範

日時：2018年 3月 3日(土) 13:55～17:05 (13:30 開場)

場所：近畿大学会館

大阪市中央区日本橋 1-8-17 TEL (06)6213-0501

最寄駅：地下鉄千日前線 / 堺筋線 / 近鉄難波線・奈良線「日本橋駅6番出口」徒歩3分

参加者：がん医療・緩和医療に関心のある薬剤師、薬学生ならびに医療関係者

参加費：無料

参加方法：事前に下記のアドレスに施設名、所属、氏名をご連絡ください

hajime.asano@med.kindai.ac.jp

(件名は、緩和でお願いします)

(例、〇〇病院薬剤科〇〇花子 〇〇調剤薬局〇〇太郎 3月3日研究会参加希望)

照会先：ご不明な点は、浅野(近大病院薬剤部)まで、メール(上記アドレス)でお問合せください



共催：緩和医療ファーマシューティカルケア研究会・大阪、近畿大学医学部附属病院、塩野義製薬株式会社

※ 緩和医療薬学会認定単位 2単位、薬剤師研修センター 2単位 取得予定

プログラム(敬称略)

総合司会 川口 明範 (近畿大学医学部附属病院 薬剤部)

「開会挨拶」(13:55～14:00)

山田 正実 (大阪府済生会野江病院 薬剤科)

第I部 一般演題 (14:00～15:20) 15分発表、5分質疑 ×4

座長 地丸 裕美 (大阪府済生会野江病院 薬剤科)

- ①「医療用麻薬に対する意識調査と服薬指導への応用～実習生の立場から～」
波多野 匠 (兵庫医療大学 薬学部5年生)
- ②「フェンタニル注射剤による疼痛コントロール不良に対して、オピオイドスイッチを行った症例」
宮本 朋佳 (府中病院 薬剤部)
- ③「PCAポンプで広がる保険調剤薬局の居宅療養管理指導」
田邊 一尊 (山本保健薬局)
- ④「緩和医療における薬-薬連携 第1～2回例会ワークショップ報告」
月岡 康行 (近畿大学医学部附属病院 薬剤部)

第II部 教育講演 (15:30～16:00)

座長 井尻 好雄 (大阪薬科大学 循環病態治療学研究室)

「塩野義製薬の製剤包装技術について」

野網 誠 (塩野義製薬株式会社 生産技術部)

第III部 特別講演 (16:00～17:00)

座長 岩城 正宏 (近畿大学薬学部 学部長)

「オピオイド誘発性便秘症と治療薬ナルデメジンについて(仮)」

葛巻 直子 (星薬科大学 薬理学教室)

「閉会挨拶」(17:00～17:05)

原 伸輔 (大阪大学医学部附属病院 薬剤部)